

臨床研究に関する情報公開(研究要旨)

太田西ノ内病院では、下記の研究を実施しております。

| | |
|---------------------------------------|--|
| 番号 | 30 |
| 研究課題名 | 全自動遺伝子解析装置GENECUBEを用いた血液培養試料におけるMRSA同定性能に関する研究 |
| 研究責任者 (試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称) | 血液内科 センター長 神林裕行 |
| 共同研究者 (利用する者の範囲) | 福島県立医科大学 感染制御学講座 原 靖果 検体検査科 技師長補佐 鈴木博子 |
| 研究目的 (試料・情報の利用目的及び利用方法) | メチシリン耐性遺伝子であるmecA遺伝子検出試薬および黄色ブドウ球菌特有の遺伝子であるnuc遺伝子試薬により血液培養陽性液試料から前処理も含め約1時間以内にmecA遺伝子およびnuc遺伝子を検出しメチシリン耐性等の感受性の鑑別が可能となるため血流感染の早期診断・治療に貢献するものと考えられる。本研究試薬と検出した黄色ブドウ球菌結果との一致率を検証し今後の菌血症治療への早期介入が可能となるか研究すること |
| 他の研究機関への 情報提供の有無、 及び提供方法 | <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 血液培養採取液のボトルを輸送とする |
| 研究実施期間 | 2020/11/06～2022/03/31 |
| 研究対象者 及び 対象期間 | 血流感染症が疑われる成人患者から採取された血液培養検査において、培養が陽性となった症例 |
| 利用する情報 (利用し、または提供する試料・情報の項目) | 血液培養検査で陽性となった検体 |
| 研究の資金源 (利益相反) | 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません |
| 備考 | |